

『さっきやま魂』

R4. 3. 10 第22号

発行人：校長 中山 末永

コロナ禍の卒業式

「校長先生、卒業式では歌を歌えないのですか？」

玄関に立っている私に6年生の子どもが話しかけてきました。3月に入ってからは、毎日市内での感染が確認され、学年閉鎖の対応をとっている学校もあります。そのような中、さらに感染対策を強化するため、大変残念ですが下記の通り卒業式の見直しを行いました。

- 来賓の方の出席を見合わせていただく。
- 国歌斉唱はBGMのみとし、斉唱はしない。
- 教育委員会告辞、祝辞（市長・PTA会長）は、文書で配布する。
- 別れの言葉の中の歌は歌わない。
- 校歌斉唱は、事前に録音したものを流す。

学校では、コロナ感染が落ち着くことを願いながら、卒業式の準備・練習に取り組んできましたが、このような結果になってしまい、とても悔しい気持ちでいっぱいです。特に、主役である6年生にとっては、とても悲しい現実だと思いますが、どうすることもできません。6年生には、「できることは制限されたが、自分にできることに全力を尽くしてほしい。」と伝えました。

コロナ禍の卒業式であったとしても、卒業の喜び、感謝の気持ちを大切にしながら、いつまでも心に残る温かく感動的な式にしたいと思っています。



ライバルは自分自身

校舎内は、卒業する6年生への掲示でいっぱいです！



前回もお伝えしましたが、「第3回持久走記録会」本番の日が近づいてきました。職員室前の掲示板上には、2月の記録会の「新記録証」を掲示しています。お互いの頑張りを認め合いながら、みんなで自己ベストを目指してほしいと思います。

最近、寒さが緩んできたためか登校時刻も早くなり、勢いよく運動場にかけていく子どもが増えてきました。これまでの努力の積み重ねが、どのような結果となって現れるのかとても楽しみです。

「コミュニティースクール」へ・・・

「コミュニティースクール」とは、「学校運営協議会制度」を導入した学校のことであり、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民の皆様に参加していただくことを目的としています。「学校支援会議」から「学校運営協議会」へと移行し、これまで以上に「社会総掛かりでの教育の実現」を目指していきたいと考えていますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。詳しい内容については、別紙資料をご覧ください。